

# 事業所活動紹介

## きぬがさ福祉会

障害者支援事業所いきいき ..... TEL 0748-36-7422

近江八幡市立医療センターの職員さんへ、コロナ感染症医療への感謝の気持ちを込めて、「おうみせんべい」「おうみやクッキー」各 100 個の寄付をしました。医療センターの職員さんからはお礼の言葉も頂きました。



## サルビア会

高齢者福祉施設 水茎の里 ..... TEL 0748-33-5321

牛乳パックで紙すきをしました。はがきサイズで好きな絵を書き、暑中見舞いを送りました。



## 小羊会

船木・えんの家 ..... TEL 0748-31-0033

大型壁面飾り色紙を細かくちぎり貼り絵で花火を作りました。気持ちもパット明るくなります。



## おうみ福祉会

おうみ作業所 ..... TEL 0748-36-7860

岡山小学校の生徒さんとの交流会がありました。今回はお互いに手作りの自己紹介カードを作り、名刺交換会をしました。にぎやかで楽しいひと時となりました。



## 一善会

赤煉瓦の郷 ..... TEL 0748-34-7123

敬老会を開催しました。



## 至徳会

北里保育園 ..... TEL 0748-36-7007

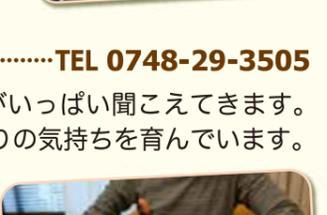
実りの秋！食欲の秋！さつまいも堀りをしました。



## 紫雲会

紫雲保育園 ..... TEL 0748-36-8540

秋の交通安全でジュニアポリスに扮して日野川グラウンドゴルフ場にて啓発運動を行いました。



## 紫雲会

岡山紫雲子どもみらい園 ..... TEL 0748-29-3505

“だいじょうぶ？”年齢の枠を越えて優しい声がいっぱい聞こえてきます。この何気ない日常の中で優しい気持ちや思いやりの気持ちを育てています。



## 小羊会

あっとほーむ ..... TEL 0748-31-3132

お手玉作り…布を3等分に切って下さいとお願いしただけですが、柄ごとに分けて下さる！利用者さんの仕事はいつも丁寧です。

# 岡山学区・北里学区社会福祉法人連携協議会

# おかきた vol.01 2020.12

地域の安心の礎をめざして

初春の候 皆様方には、輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

日頃は、当協議会はもとより、私共社会福祉法人の事業運営に何かとご理解ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、平成30年2月に、岡山学区、北里学区で高齢者福祉、児童福祉、障害福祉施設を運営する7つの法人が一体となって、地域に社会貢献をしようとして設立しましたおかきた安心ネットも3年を経過しました。

特に令和元年度は、「地域共生型ボランティア養成講座」を開催し、24名の方が座学や施設において実践を積み講座修了頂き、うち14名の方が「ボラ・おかきた」にご登録いただき、改めてお礼申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症が全世界で流行し、飛沫や接触により感染することから、ボランティア養成講座は見送らせて頂きました。

しかし、感染防止策を徹底しながら、社会経済活動を停滞させてはいけないうという流れの下、当協議会におきましても、令和2年度事業として、地域との絆をさらに深めていくために ①地域で開催される研修会への講師派遣事業 ②地域サロンへの健康機器やゲームの貸し出しなどの協力 ③広報紙の発行 ④ボランティアポイント制度の構築の4点を主な事業として進めております。このことにより、地域の皆様とおかきた安心ネットが「顔の見える関係」を築くことが、次に結びつくと考えています。

少子高齢化がますます進み、地域では一人暮らしや高齢者のみ世帯が増加し、また子育てや障害について悩んでおられる家庭も増加しています。

おかきた安心ネットは、地域の皆様方の安心の礎をめざし今後とも取り組んでまいりますので、ご支援のほどよろしくお願い致します。

おかきた安心ネット連携協議会

会長 岡田 三正

## コロナ禍の感染予防について

新型コロナウイルスの感染には、感染した人のくしゃみや咳などからウイルスを吸い込む飛沫感染とドアなどに触れてウイルスが手につき、口や鼻などから体内に入る接触感染の2つがあります。

感染予防のため、①換気の悪い密閉空間→密閉 ②多数が集まる→密集 ③間近で会話や発声をする→密接 を避けることが大切になってきます。

また、マスクの着用と手洗い・うがいや自己免疫力を高めることで感染しにくい体づくりをすることも感染予防になります。

これから寒くなると、なかなか換気がしにくくなりますが1時間に1回5分程度窓やドアを開けるなどで、家族同士の感染を予防することも心掛けたいですね。





## 講師派遣のご案内

地域の研修会や敬老会、サロンなどで勉強会を開催しませんか？

施設の職員が地域へ出向き講義いたします



### 講座名や内容

### 講師

・介護保険 ・在宅介護サービスについて	居宅赤煉瓦の郷 介護支援専門員 横木 居宅水茎の里 主任介護支援専門員 山本 他2名
・認知症ってどんな病気？ ・認知症ケアについて	水茎の里デイサービスセンター 管理者 相馬 水茎の里 介護支援専門員 野々村 船木・えんの家 管理者 米田
・アンガーマネジメント	船木・えんの家 管理者 米田
・自閉症や発達障害の理解理解 ・障害福祉制度について	おうみ作業所 施設長 野村
・意思決定支援と虐待防止の理解	おうみ作業所 サービス管理責任者 武尾
・感染症について	水茎の里 看護師 酒井
・高齢者の食事について	水茎の里 管理栄養士 滝照
・身体介助方法抱えない介助	水茎の里 看護師 小林

\*掲載しているテーマ以外でもご相談ください

\*講師との日程調整都合上、実施希望1ヶ月前までにお申し込みください



## ボラおかきたメンバーさん 活動風景



絵本の読み聞かせ



おやつ作り



花の植栽



植木の剪定

## 貸出機器のご紹介

認知症検査機器タッチパネル・骨密度測定器・血管年齢測定器を持参し、測定会をして頂くことも行ってます



講師派遣申込書の用紙を次の事務局から取り寄せ、開催1ヶ月前までに提出ください。

事務局 特別養護老人ホーム  
水茎の里 野々村  
TEL 33-5321

## ボランティアさんの 寄稿文

私がボランティアに参加させていただきたいと思ったのは、認知症の夫を介護する中で、地域や施設の皆さん、身内、家族の協力に助けられたことへの感謝の気持ちからです。

ボランティアで伺ったおうみ作業所では、ダウン症の方と手をつなぎ近くの小学校の音楽会を鑑賞へ行きました。その時の手のぬくもり、一喜一憂、素直な鑑賞表現の凄さに心を動かされ、つないでいた手を改めて強く握り返したことを覚えています。

でも様々な障害を持った方へのケアはきれいごとだけでは出来ないことも通りました。ボランティアに参加しているという自己満足が自分の気持ちの中にもある事にも気づかされました。

それでも自分の中では、一步を踏み出せたとも思います。これから出来ることから」参加できたらと思います。

障害や認知症を持った方は、接する側の気持ちを素直に敏感に受け取ってくださると感じています。

## 編集 後記

コロナ禍において地域の皆さんと触れ合うことが困難なこともあり、広報紙を発行することとなりました。広報誌を通じて地域の皆さんに、福祉の事を知って頂けたらとおもいます。こんな時だからこそ、いつも気にかけてくれるご近所さんや活動をつなぐ仲間…人とのつながりが大切だと感じています。広報作成にご協力頂いた皆様、ありがとうございました。----- 宮本